

第1学年英語科学習指導案

日 時：令和3年11月5日（金） 5時間目
学 級：釜石市立釜石中学校 1年3組 29名
会 場：1年3組教室
指 導 者：福田 依里

1 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE Program 7 Research on Australia

2 内容のまとめり 「話すこと（発表）」 イ
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめりのある内容を話すことができるようにする。

3 単元の目標

- (1) 「～がある」や「～がいる」という表現の使い方を理解し、釜石を紹介するために、自分がおすす
めしたい場所について簡単な語句や文を用いて話す技能を身につけることができる。
「知識及び技能」
- (2) 海外の方に釜石についてよりよく知ってもらうために、自分がおすすめしたい場所について事実
や情報を整理し、簡単な語句や文を用いて、まとめりのある内容を話すことができる。
「思考力、判断力、表現力等」
- (3) 海外の方に釜石についてよりよく知ってもらうために、聞き手に配慮しながら、事実や情報を整
理し、簡単な語句や文を用いてまとめりのある内容を話そうとしている。
「学びに向かう力、人間性等」

4 単元について

(1) 生徒について

本学級の生徒は、これまで自己紹介や学年の先生方や好きな人の紹介など、発表に取り組んできた。「話すこと（やりとり）」については意欲的に取り組む反面、「話すこと（発表）」となると、「緊張を
してうまく話せない」「間違えたら恥ずかしい」という理由から、苦手だと感じている生徒が多い。練
習を重ねることで自信を持たせるよう、ペアでの活動時間を確保しながら取り組んできた。「英語は
好きですか」という問いに対しては学級の67%の生徒が肯定的な回答をしている。本単元では、海
外の方に向けた釜石の紹介に取り組む。相手意識をもち、相手の求めている情報をわかりやすく伝え
るという力を身につけさせたい。

(2) 教材について

本単元は、健と真央がオーストラリア出身のエミリーから、世界遺産や夏の風物詩を教わり、興味
を示すという場面を扱う。初出となる There is 構文は、相手が知らない情報を伝える働きがあり、
自分の国や地域を紹介する表現としてもよく用いられる。単元のゴールでは、この表現を中心にして、
海外の方に釜石をよりよく知ってもらい興味を示してもらえるような紹介に挑戦させたい。

(3) 指導について

総合的な学習の時間には、「地域を知る」という学年テーマのもと、鉄の歴史館やいのちをつなぐ未来館などの施設見学を通して、釜石を知る学習を進めている。その際に学んだことを単元のゴールである海外の方に向けた釜石の紹介に生かしたい。また、これまで自己紹介や第三者の紹介などを通して、話す活動を取り入れてきた。伝えたいことはあっても、間違えることが恥ずかしく消極的になる生徒も見られるため、練習時間を十分に確保し、自信をもって紹介できるよう指導していきたい。また、小学校外国語で学んできている「We have～」や「Please～」等、既習事項を想起させながら相手にとってどのような情報を伝えたらよいか、話し手として伝えたい事実や考えなどの順番を考えたりしてコミュニケーションとしてのスピーチとなるよう指導していきたい。

(4) 本研究との関わり

研究主題【主体的に学びに向かう生徒の育成 ～生徒の「問い」を大切にした授業を通して～】

①「生徒の問いを大切にした授業」について

コミュニケーションの際に「聞き手に配慮する」ということが重要である。「聞き手に配慮しながら、伝えたいことを伝えるためにはどのように話せばよいか」という問いを持たせたい。

②「問い」のある授業について

★学びを追求する課題設定

★学びを実感する振り返り

- ・単元のゴールを提示し単元の見通しをもつことで自分事として捉え、ゴール達成に向けて取り組むよう促す。
- ・前時までの振り返りを紹介し、本時の課題設定につなげる。

★他者との関わりを大切にする学習活動と、教師によるファシリテートの在り方について

- ・small talk やペア活動を取り入れ、常に相手意識を持たせる指導を行う。ペア活動の時には、お互いに評価し合い、改善していくように促す。また、ペアで解決できないことを、全体で共有し考えさせる。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①There +be 動詞の特徴や決まりを理解している。</p> <p>②釜石について、紹介したいものを There +be 動詞などを用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>① 海外の方に釜石についてよりよく知ってもらうために、相手に伝えたいことや自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。</p>	<p>① 海外の方に釜石についてよりよく知ってもらうために、相手に伝えたいことや自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。</p>

6 指導と評価の計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	<p>○単元の目標を理解する。</p> <p>○人やものの存在についての表現方法やきまりを確認する。</p> <p>○釜石市にはどんな施設等があるのかペアで伝えあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元目標を提示し、単元のゴールを共有する。 ・最終ゴールの姿を見せる。 ・単元のゴールにつながる活動だということを意識づける 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6時までのところで、以下の項目を見取り、指導に生かすこととする。 <p>【知①】 There is/are の特徴や決まりを理解している。[観察]</p>
2	<p>○how を用いた方法・手段のたずね方や答え方の構造と意味を理解する。</p> <p>○登校手段等をペアで伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒がやりとりを行い、「方法・手段」を表す how の使用方法や答え方を確認する。 	
3	<p>○オーストラリアの様子について知るために会話文を読み、概要や要点をとらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアについてイメージを持ちやすいよう画像等を提示する。 	
4	<p>○教科書本文の音読を行い、内容に対する自分の考えなどをペアで伝えあう。</p> <p>○There is/are の be 動詞を使い分ける練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールにつながる音読であるため、意識づけながら音読練習を丁寧に行う。 	
5	<p>○オーストラリアの文化について読み取り、日本との違いについて自分の考えをペアで伝えあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを持ちやすいよう画像等を提示する。 	
6	<p>○教科書本文の音読を行い、内容に対する自分の考えなどをペアで伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールにつながる音読であるため、意識づけながら音読練習を丁寧に行う。 	
7 本 時	<p>○これまで学習した表現・単語を使って、4文で釜石の紹介を考え、ペアで伝えあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何が聞き手への配慮となるかを確認する。(相手の知りたい情報であるか) ・紹介する場所を数か所選び、提示する。 	<p>【知②】 There +be 動詞などを用いて紹介することができる。[観察・発表]</p> <p>【態】 聞き手に配慮しながら、まとまりのある内容を話そうとしている [観察・振り返り]</p>
8	<p>○釜石について紹介をする。</p> <p>There is/are ～.</p> <p>It's ～.</p> <p>You can ～.</p> <p>の表現を使用して、釜石を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手への配慮として、相手(ALT)の知りたい内容に当てはまるか、内容の順番が適切かを確認する。 	<p>【思】 簡単な語句や文を用いて自分がおすすめしたい釜石について紹介することができる。[観察]</p> <p>【態】 聞き手に配慮しながら、まとまりのある内容を話そうとしている [観察・振り返り]</p>

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・聞き手に配慮しながら、簡単な語句や文を用いて自分が「おすすめしたい釜石」について紹介しようとしている。
【主体的に学習に取り組む態度】
- ・There + be 動詞などを用いて、「おすすめしたい釜石」について紹介することができる。
【知識・技能】

(2) 展開

段階	学 習 活 動 (研究との関連★)	指導上の留意点○ 評価【◆】
導入 5分	① 挨拶 ★学びを実感する振り返り ② small talk ③ 本時のゴールの提示 ★学びを追求する課題設定	○明るい雰囲気を作る。 ○生徒とのやりとりから、紹介への流れを作る。 ・地図を使いながら、釜石にある施設等を確認する。 ○単元のゴールを提示し、意識づける。
本時の課題：来日を考えている先生の友達のために、釜石のおすすめを紹介しよう		
展開 40分	④ 釜石の紹介をする。 ★他者との関りを大切に学習活動と、教師によるファシリテートの在り方について(1)つなげる) (1)活動の内容を確認する。 ・4文で紹介する。 ・既習事項を活用する。 ・聞き手への配慮。 (2)釜石を英語で紹介する [ペア] ・行きたい場所を1か所選ぶ。 ・紹介し合う。(3回) ・評価をし合う。 ○評価のポイント ・まとまりのある内容になっているか。 ・内容の順番が適切かどうか。 ・4文で表現できているか。 (3)発表 ・数名が全体の前で発表する。	○紹介で使う表現を確認する。 ○どのような配慮が必要か確認する。 ○釜石 MAP を生徒に配布する。 ○机間指導を行い、活動の様子を観察する。その際、ペアで解決できない問題がある時には、全体で共有し考えさせる。 ◆There + be 動詞を用いて自分が「おすすめしたい釜石」について紹介することができたか。【知識・技能】
終末 5分	⑤ 振り返り ★学びを実感する振り返り ・振り返りシートに本時の振り返りを記入する。 ⑥ 次回の確認をする。	○相手にどのような配慮をして、発表することができたかを記述する。 ◆聞き手に配慮しながら、まとまりのある内容を話そうとすることができたか。【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 本時の評価規準

	十分満足 (A)	概ね満足 (B)	努力を要すると判断される状況への生徒への指導の手立て (C)
態度	聞き手の反応を確かめながら、相手の知りたい情報を交えて釜石の紹介をしようとしている。	聞き手に配慮しながら、自分が「おすすめしたい釜石」について紹介しようとしている。	相手がどんな人で、何が好きかを確認しながら、どんな場所をすすめたらいいか助言する。
知技	There + be 動詞を用いて、自分が「おすすめしたい釜石」について、理由や自分の気持ちなどを含めて、まとまりのある5文以上で紹介することができる。	There + be 動詞を用いて、自分が「おすすめしたい釜石」について、4文で紹介することができる。	紹介するための表現を提示して参考にさせる。